

研究業績等に関する事項

著書, 学術論文等の名称	単著, 共著の別	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書(欧文)) 1.				
(著書(和文)) 1.				
(学術論文(欧文)) 1.				
(学術論文(和文)) 大学認証評価における大学図書館評価の研究—大学基準協会, 大学 1. 評価・学位授与機構, 日本高等教育評価機構の評価結果の内容分析から—	単著	2015年3月	修士論文(筑波大学図書館情報メディア研究科)	本研究の目的は、高等教育全体の発展に貢献できる大学評価と大学図書館評価のために、日本の認証評価において大学図書館がどのように評価されてきたのかを明らかにすることである。本研究は、大学基準協会, 大学評価、学位授与機構、日本高等教育評価機構の10年分の認証評価結果の図書館部分を全て調査・分析した初の試みである。その結果、評価項目や一部の結果だけでは分からない大学図書館の評価が明らかとなった。さらに、本研究の分析は、全ての日本の大学と大学図書館を評価した認証評価を対象にしていることから、大学内における大学図書館のあり方を考える上で、示唆を与えるものである。
大学認証評価における大学図書館の評価—認証評価機関の評価基準と評価結果を中心に— 2.	単著	2016年6月	Library and Information Science. no. 75, pp. 1-36	大学認証評価において大学図書館が、資料・施設・設備以外の評価項目においていかに評価されているのかを明らかにすることにより、大学という組織の中における大学図書館の位置づけを確認し、認証評価の問題点を検討した。(査読有)
大学機関別認証評価・ア krediteーションにおける大学図書館の位置づけと役割—図書館評価規格の活用を視野に入れて 3.	単著	2017年6月	Library and Information Science. no. 77, pp. 149-181	日本の認証評価における大学図書館の評価について、認証評価のモデルとなった米国のア krediteーションや、図書館評価に関する国際規格などとの比較によって、その位置づけ、意義と限界を明らかにすることを目的とし、認証評価における大学図書館評価の枠組みについて検討を行った。(査読有)
(紀要論文) 図書館司書資格を活用 1. したキャリア形成枠組みの検討(報告)	単著	2022年3月	『常磐短期大学研究紀要』50号、p. 11-27	「正規図書館職員となるための情報がわかりにくいこと」に着目し、司書養成教育と就職支援に資するため、司書資格を活用した就職先を俯瞰するための枠組みを検討した。(査読有)

<p>法情報サービスは司書課程でどのように教えられているのか</p> <p>2. 「図書館に関する科目」(司書科目)における法情報サービスの位置づけ- (報告)</p>	単著	2022年3月	『常磐短期大学研究紀要』51号、p. 43-75	本研究の目的は、「図書館に関する科目」(司書科目)で法情報サービスがどのように教えられているのかを明らかにすることである。本研究の目的を達成するために、以下の3点を検討した。(1)「法情報」の種類を整理した上で、社会から要請される法情報サービスについて検討する。(2)法情報サービスの実態を調査する。(3)「図書館に関する科目」(司書科目)の教科書・テキストとして出版されている文献を対象に内容分析を実施する。具体的には各教科書の本文中において法情報サービスへの言及の有無、及びその内容について分析する。(査読有)
(辞書・翻訳書等)				
1.				
(報告書・会報等)				
Moodle等のICTツールを				
1. 活用した学習支援活動の研究	共著	2014年4月	私立大学図書館協会研究助成(機関研究)報告書	私立大学図書館協会研究助成(機関研究)の取りまとめと報告執筆を担当。助成額総額:1,159,850円(1年目:599,690円 2年目:560,160円)(査読無)
湘南工科大学授業科目				
2. 「図書館ボランティア」について	単著	2014年4月	『大学の図書館』33巻4号、p. 54-57	湘南工科大学授業科目「図書館ボランティア」について、その概要を報告した。(査読無)
お茶の水女子大学附属				
3. 図書館経営に関する一考察—大学図書館問題研究会東京支部例会参加報告—	単著	2016年4月	『大学図書館問題研究会東京支部報』232号、p. 2	お茶の水女子大学附属図書館経営に関する考察を行った。(査読無)
参加者の感想「学校司				
4. 書モデルカリキュラムと達成度評価」	単著	2022年5月	日本図書館協会 図書館情報学教育部会報、第133号、p. 10	日本図書館協会 図書館情報学教育部会2021年度研究集会(2022年3月6日(日))「テーマ:学校司書モデルカリキュラムにおける質保証」の参加報告を行った。(査読無)
私立大学等改革総合支				
5. 援事業に対する大学図書館の関与可能性	単著	2022年6月	カレントアウェアネス NO. 352、p. 8-12	本稿は、私立大学等改革総合支援事業に対する大学図書館の関与可能性を検討することを目的とする。そのために、まず本事業の概要を説明する。次に、本事業の調査票と関連文献をもとに本支援事業の変遷と、大学図書館が関わられると考えられる項目及びその変遷について示す。その上で、大学図書館の本事業への関与可能性について検討した。(査読無)
図書館文化史研究 文献				
6. 紹介『攻撃される知識の歴史—なぜ図書館とアーカイブは破壊され続けるのか』	単著	2023年2月	日本図書館文化史研究会ニューズレター 第163号、p. 4-6、2023年2月11日	オックスフォード大学ボドリアン図書館長のリチャード・オヴェンデンが、「長い歴史のなかで行われてきた知識に対する攻撃と、図書館や公文書館の破壊がコミュニティや社会全体に与えた影響について伝えようと試みた」本書の紹介を行った。

7. コロナ禍の図書館学教育研究グループ	単著	2023年2月	図書館学教育研究グループ50周年記念誌, p. 105-106	自身が参画している日本図書館研究会の図書館学教育研究グループにおける経験について、記念誌のために詳細な説明を提供した。
(国際学会発表) 1.				
(国内学会発表) 1. Moodle等のICTツールを活用した学習支援活動の研究	共同	2014年8月	第75回私立大学図書館協会研究大会 岡山理科大学	高池 宣彦, 渡辺 重佳 発表資料作成と発表者を担当。2012年4月1日～2014年3月31日の2年間の研究助成について、オープンソースのE-learningシステム「Moodle」等のICTツールを使用して、ガイダンス等の学習支援を行う研究の成果報告を行った。(査読無)
2. 大学評価と大学図書館評価の歴史的経緯とテキスト分析の試み	単独	2014年8月	大学図書館問題研究会 第45回全国大会 山形大学小白川キャンパス	発表者: 大学の機関別認証評価における評価結果・自己点検評価報告書に「図書館」がどのように記述されているかを明らかにすることを目的とし、テキスト分析の結果を報告した。(査読無)
3. 大学認証評価における大学図書館評価の検討	単独	2015年12月	日本評価学会 第16回全国大会 JICA沖縄国際センター	発表者: 認証評価における大学図書館評価と、国際規格等の図書館評価の整理を行い、それらの比較分析を行った上で、認証評価における大学図書館評価のあり方について検討した結果を基に、大学図書館のインパクト評価を認証評価の枠組みで行う提案を行った。(査読無)
4. 教育と医療の第三者評価の比較検討—大学機関別認証評価と病院機能評価を中心に	単独	2016年5月	日本評価学会 春季第13回全国大会 JICA横浜	発表者: 認証評価と病院機能評価の導入経緯, 認定・適合率, 評価結果の比較を行った。その結果, 導入経緯に関しては, 法的拘束力の違い, 認定・適合率, 評価結果の違いが明らかになった。(査読無)
5. 大学図書館評価の理論とその展開—大学における図書館の価値を明らかにする方法—	単独	2018年8月	大学図書館問題研究会2018/平成31年度 東京地域グループ総会	大学図書館評価の理論とその展開について概説した。(査読無)

<p>6. 「高等学校教科書「社会と情報」における「情報の評価」の検討」</p>	<p>単独</p>	<p>2020年11月</p>	<p>日本国際秘書学会第29回全国大会、オンライン開催 (Zoom)、11月</p>	<p>秘書の重要な役割の一つに情報収集がある。情報収集にあたっては、情報源・情報量・信憑性・時期・分析方法などの情報の価値を左右する要素を検討する、いわゆる「情報の評価」を行うことが求められる。しかし、現在のコロナ禍の状況においては、図書館の利用制限等で情報の選択が限られており、情報源がウェブ情報に偏ることが予想れ、「情報の評価」の重要性がより大きくなっている。『高等学校学習指導要領解説情報編』では、科目「社会と情報」において、「情報の信頼性や信憑性を評価する方法の習得が極めて重要であることも理解させる」とある。そこで本発表は、高等学校で「情報の評価」がどのように教育されているかについて明らかにすることを目的とし、「情報」、「評価」等の概念整理を行った上で、現行の学習指導要領に基づいて編集された高等学校教科書「社会と情報」の内容分析を行い、その結果として「情報の評価」の特徴を整理し、報告した。(査読無)</p>
<p>7. 図書館概論の教材研究 (2) 「欧米の図書館を取り扱った動画」</p>	<p>単独</p>	<p>2021年9月</p>	<p>日本図書館研究会 図書館学教育研究グループ研究例会 第201回 オンライン開催</p>	<p>「図書館概論」の授業で有用であろう資料、特に動画素材について共有した。海外の図書館の公式動画、DVD、有料のものも含めて、できるだけアクセスしやすいものを選定した。(査読無)</p>
<p>8. 「図書館に関する科目」(司書資格科目)における法情報の取り扱いについての検討</p>	<p>単独</p>	<p>2021年10月</p>	<p>ロー・ライブラリアン研究会2021年10月例会 オンライン</p>	<p>「図書館に関する科目」(司書資格科目)の「図書館サービス概論」「情報サービス論」「情報サービス演習」の教科書において、法情報がどのように扱われているのかについて調査・分析した結果を発表した。(査読無)</p>
<p>9. 法情報は司書資格科目でどのように教えられているのか?</p>	<p>単独</p>	<p>2021年11月</p>	<p>ロー・ライブラリアン研究会2021年11月例会 オンライン</p>	<p>「図書館に関する科目」(司書資格科目)の改定前後において、法情報がどのように扱われてきたのかについて調査・分析した結果を発表した。(査読無)</p>
<p>10. 動画を評価する方法：教員は動画をどのように評価するのか</p>	<p>単独</p>	<p>2022年1月</p>	<p>日本図書館研究会 図書館学教育研究グループ研究例会 第203回 オンライン</p>	<p>情報源を評価する方法が何を評価するのかに着目して調査・整理した結果を発表した。(査読無)</p>

11.	アフターコロナにおける司書課程の教材作成	共同	2022年3月	日本図書館研究会第63回研究大会 オンライン開催	岡田大輔, 川原亜希世, 高池宣彦 多くの大学教員は, 教科書以外にスライドや配布プリントを用いて授業を行っている。これらを作成するには画像などの素材が必要となる。そして, 今後コロナが収束したとしても, 学生の理解がはかどる教材をより容易に作成する方法の共有が求められるが, 共有はあまりなされていないのが現状であろう。もちろん, 資料・素材の選択は授業の方法と密接に関わっており, 各教員の腕の見せどころではある。教員が授業を組み立てることは教員を成長させるだろう。授業で活用できる資料・素材の入手・選択方法を主に検討してきた結果を発表した。(査読無)
12.	学校司書モデルカリキュラム実施大学シラバスの検討	単独	2022年5月	日本図書館研究会図書館学教育研究グループ研究例会第205回 オンライン開催	モデルカリキュラム実施大学の2021年度「学校経営と学校図書館」「学習指導と学校図書館」「読書と豊かな人間性」のシラバスについて, 比較検討結果を発表した。(査読無)
13.	学校司書のモデルカリキュラム科目の教科書調査(1-5)司書教諭課程科目「読書と豊かな人間性」	単独	2022年7月	日本図書館研究会図書館学教育研究グループ研究例会第206回 オンライン開催	2002年以降に出版された司書教諭課程科目「読書と豊かな人間性」の教科書等を対象として, 全文で計量的に分析をおこなった。重みづけをして「学校司書」がどのように現れてくるかを計量した。(査読無)
14.	「学校図書館情報サービス論」と「学校図書館サービス論」の授業内容の検討	共同	2023年3月	日本図書館研究会第64回研究大会 同志社大学	岡田大輔, 吉澤小百合, 高池宣彦, 高畑悦子, 坂本俊 本研究は「学校図書館サービス論」「学校図書館情報サービス論」「情報サービス論/演習」の授業の内容や方法を検討し, 科目の担当者に共有することを目指している。
15.	JLAの新カリキュラムを検討する『「大学において履修すべき図書館に関する科目」改定案(2022)の検討』	単独	2023年5月	日本図書館研究会図書館学教育研究グループ研究例会第211回 オンライン開催	2022年の第108回全国図書館大会(群馬)の第6分科会で, 『社会の変化に対応した新しい「大学において履修すべき図書館に関する科目」』が報告された。・2012年度大学入学者から適用されている「司書資格取得のために大学において履修すべき図書館に関する科目」は, 検討時には10年から15年程度で見直すものと考えられていた。本科目は2022年6月時点で11年目に突入しており, 見直しを検討すべき時期にきていることを踏まえた改訂案で, その内容について検討した結果を報告した。
	(演奏会・展覧会等)				
	1.				
	(招待講演・基調講演)				
	1.				

(受賞(学術賞等))						
1. 筑波大学大学院 図書館 情報メディア研究科 研 究科長表彰			2015年3月			
2. 日本統計学会認定 統計 検定3級 優秀成績賞			2015年7月			
研 究 活 動 項 目						
助成を受けた研究等の名称	代表, 分担等 の別	種 類	採択年 度	交付・ 受入元	交付・ 受入額	概 要
(科学研究費採択)						
1.						
(競争的研究助成費獲得(科 研費除く))						
Moodle等のICTツールを 1. 活用した学習支援活動 の研究	取り まとめ と報告 書執筆	機関研究	2012~ 2013	私立大学 図書館協 会	1,159,850 円(1年 目:599,69 0円 2年 目:560,16 0円)	2012年4月1日~2014年3月31日の2 年間の研究助成について、オー プンソースのE-learningシステム 「Moodle」等のICTツールを使用 した、ガイダンス等の学習支援を 行う研究の取りまとめと報告書執 筆を行った。(査読無)
(共同研究・受託研究受入れ)						
1.						
(奨学・指定寄付金受入れ)						
1.						
(学内課題研究(共同研究))						
1.						
(学内課題研究(各個研究))						
1.						
(知的財産(特許・実用新案等))						
1.						